会長挨拶

日本医療マネジメント学会
第１５回東京支部学術集会

このたびは、日本医療マネジメント学会第１５回東京支部学術集会を担当させて頂くことになりました。誠に光栄であり、また、その責任の重大さに心引き締まる思いでございます。

本学会は医療の質向上を求めクリティカルパスをはじめとし、医療安全，医療連携、臨床指標、診療情報管理、看護ケア、医療者教育などに取り組み、さらに、医療情勢の変化に伴い地域医療連携クリティカルパス，地域包括ケアが重要な課題となってきております．また、医師、看護師、薬剤師、医療スタッフ全般、事務職、診療情報管理士、病院管理者など多職種の医療従事者がより良い医療のための意見の発表、交換の場として重要な役割を担っております.

わが国の医療を取り巻く状況は，医療・医学の進歩、メディカルスタッフ間の医療に対する姿勢、電子化、社会情勢の変化、高齢化など大きな転換の時を向かえております。

今回は「医療の質とこれからのチーム医療：2025 年を見据えた地域包括ケアシステム」をテーマに、団塊の世代の方々が後期高齢者となる 2025 年を目前に変化してゆく機能別病床、地域医療、介護、在宅ケアなど、さらに、患者情報の共有などこれからのチーム医療についての基調講演、特別講演、教育講演、ランチョンセミナー、パネルディスカッションを予定致しました.

多数の皆様の参加ならびに活発な討論をよろしくお願い申し上げます.

日本医療マネジメント学会
第１５回東京支部学術集会
会　長　村杉　雅秀
（東京女子医科大学病院
病院機能・情報管理部）